

投資事業評価調書（新規）

部課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 竹谷徹 (三木自行)	内線	4389 (4401)
事業種目	道路	事業名	事業区間	総事業費	4.3億円
		平林立道線 地方道路交付金事業	津名郡北淡町 野島貴船～野島大川	内用地補償費	0億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
津名郡北淡町野島貴船～野島大川			H17	H17	H20
事業目的			事業内容		
<ul style="list-style-type: none"> 本路線は、県道を補完する幹線町道で、重要構造物である橋梁を含む高度な技術力を要するため、県代行事業により道路整備をおこなうことで過疎地域の自立促進を図る。 緊急輸送路に指定されている(主)福良江井岩屋線を補完し、災害発生時の安全確保を図る。 北淡町と淡路町の中心部を最短で連絡し、地域間の交流・連携の強化を図る。 沿道の公共施設（一般廃棄物処理施設、特別養護老人ホーム、身体障害者療養施設）へのアクセスを向上させ、共同利用を促進し、市町村合併を支援する。 			道路改良（バイパス）L=604m 計画交通量：2,400台/日 計画幅員：W=5.5(7.0)m 2車線歩道なし 重要構造物：橋梁1橋 (ホースT桁橋 橋梁部42m) 現況交通量：300台/日 現況幅員：W=2.0～4.0m 【負担割合：国 55% 県45%】		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 安全・安心	本路線は、(主)福良江井岩屋線を補完し、災害時の緊急避難路としての効果が期待される。				
地域の活性化	淡路ICから北淡町の主要な観光施設である北淡町震災記念公園（H14年度入り込み観光客42万人）への連絡が強化され、地域経済のさらなる活性化が期待される。				
交流・連携を支える みちづくり	本路線は、合併予定の北淡町と淡路町の中心部を最短で連絡し、地域間の交流・連携を強化し、公共施設の共同利用を促進する市町村の合併支援に資する道路として、平成16年度に市町村合併支援道路整備実施箇所の指定を受けている。				
地域のニーズ	沿道の一般廃棄物処理施設（夕陽が丘クリーンセンター）は、津名郡6町で共同利用していることもあり、津名郡町長会から代行による早期整備の要望がある。				
(2)有効性・効率性 有効性	沿道には、特別養護老人ホーム（あわじ荘）、身体障害者療養施設（フローラ北淡）や津名郡広域事務組合の一般廃棄物処理施設等があり、医療福祉の向上や住民の生活基盤の強化が図られる。 費用便益費 B/C = 4.9				
代替性	現道は地形が急峻かつ人家連亘であるため、現道拡幅は困難であり、バイパス整備による道路整備が最適である。				
効率性	平成16年度中に町事業により事業区間の全用地の買収が完了するため、円滑な事業進捗が図られる。				
(3)環境適合性	切土・盛土のり面は、周辺植生に配慮した緑化等によるのり面保護を行い、周辺環境への影響を最小限に止める。				
(4)優先性	接続する(一)佐野仁井岩屋線は、県において道路改築事業が促進されており、平成20年度末に同時供用することで、一体的な効果の発現を図る。また平成16年4月、北淡町事業評価監視委員会において、事業の必要性についての答申を得ている。				